

スマーナ

仕事で取引先や同僚の外国人と酒宴の席に出ることもあるかと思えます。そんなとき、女性がついつい、空いたグラスにビールをついだり、焼酎のお湯割りを作ったりしていませんか？

日本人同士の

接待や会食、宴会では、男女問わず、お客様や

上司などにお酒をつぐのは普通のことです。最近は何やら少なくなっているといえ、

空いたグラスに気付かずお酌のタイミングを逸すと、「気が付かず申し訳ございません」と謝ることも。これは、日本ではお酌は相手に対する心遣いだからです。

一方、西洋文化は「レディーファースト」。男性が女性をエスコートする役割ですから、接客係以外の女性が男性にお酒を



外国人との宴席 お酌は一杯目だけ

注いで回る光景は、外国人にはちょっと奇異に映るようです。まずは女性からお酌をするな

ら、最初の一杯にとどめておくといいでしょう。その上で日本では女性に限らず老若男女がコ

ミュニケーション手段として酒を酌み交わし合うのだと解説してもいいかもしれません。

乾杯も少し異なります。日本人は自分のグラスを見つめている人が多いのに対し、外国人の人は相手の目を見ながらにこやかにグラスを持ちます。ガチャンと乾杯のグラスを当てるのは、国際儀礼ではマナー違反です。

宴席の話題は悩みどころ。仕事関係の人でも社交の場で仕事の話はNG。趣味や最近話題のスポットなど、生活の中の明るい話題を選ぶといいでしょう。

(ビジネススマナー講師

美月 あきこ)